

世界に雄飛

Leap into the world



受け継がれる教育方針

本学園は日本最初の国際空港である羽田空港が昭和6年に開設された翌年、昭和7年に我が国で最も歴史のある、最大規模の航空教育機関としてスタートして今年で88年になります。戦後には高等学校も設置され、航空科と普通科の両翼を有するまでに発展しました。本校の生徒たちがしっかりとした人生観や世界観、価値観という根を持ち、片方に感謝と喜び、もう片方に想像と創造という両方の翼を大きく広げ、時には痛みを伴う愛を知り、感動を覚え、与えられた人生の複雑さを受け入れ、耐え、理解し、私たちの故郷である地球を愛し、家族、両親に感謝し、それぞれの国で平和の担い手として活躍できる精神と技術を習得することを目標に教育を行っています。航空機の安全運航には愛護心が必要であり、この愛護心は愛社心、愛国心から発生するものです。それぞれの国への感謝と誇りこそ、私たちの生きる喜びであり大きなエネルギーとなります。この思想を基盤として本校で学び、人と人とのコミュニケーションを体得することにより目標を実現させます。日本航空学園の伝統と経験に基づく教育指導を受け、世界に雄飛してください。